

三愛 ビュー view

発行所：三船病院相談室
 創刊日：2003年8月15日
 〒763-0073
 香川県丸亀市柞原町366
 Tel 0877-23-2341
 Fax 0877-23-2344

訪問看護に携わって

訪問看護室 看護師 高島 尚美

精神科医療での訪問看護とは、退院された方、外来通院されている方の自宅や共同住宅など患者様が生活されている場に出向き、その方の生活全体を見ながら「現実の生活」に即した支援をすることにより、「その人らしく」「自分自身の力で」生活できるように支援することとされています。

当院では平成16年9月、慢性期の患者様の退院を目的とした地域生活支援委員会が発足しました。それに伴い以前から個別に行っていた訪問活動をもとに訪問看護事業を立ち上げ、看護部門と医療相談室精神保健福祉士が主となり活動しています。月平均訪問件数は平成17年度が53件、平成18年度が95件、平成19年度が100件(9月現在)と利用者および訪問件数が徐々に増えてきています。また今年4月より外来に訪問看護室が設けられ専従職員である看護師が配置されました。現在は当院の訪問看護の基準に従って、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、そして9月から保健師も訪問を行っています。

私は今年4月より外来・訪問看護室専従として、毎日訪問看護を行っています。当初は初めての訪問に「どんな方なのだろう」「何からお話したらいいのだろう」と緊張しながら出掛けたことを覚えています。まさに患者様との『出会い』からの始まりでした。訪問を重ねるうち今では患者様一人ひとりのことが少しずつ把握でき、理解できればできるほど訪問することが楽しみになっています。

そして私には常に心に持っている信念があります。それは①いつも笑顔で②何をすることも同意・了解をもらう③自分の生活習慣・価値観を押し付けないの3点です。当院の理念に「思いやりと誠意を持って患者様に接し医療を行う。患者様の人権を尊重し、患者様に最高の医療を提供し、最善を尽くし、その病気の改善および社会復帰を図る」とあります。訪問看護の目標は、患者様の地域での生活、社会復帰がより長く維持できるように努めることだと思います。どんな時でも患者様一人ひとりの人権、その人らしさを大切に、笑顔で訪問して言葉のキャッチボールを行う、それには私の3つの信念が大切だと思っています。

訪問先の患者様から「来てくれて嬉しい」「訪問看護が必要」などといった声を数多く聞かされた時にニーズの高さが伺えます。実際にサービスを利用されている患者様はもちろん、そのご家族や多職種、関係機関とも連携を取りながら地域生活の支援をしていきたいと思っています。

さて、この4月より訪問看護室での専従職員が配置されたことは先に述べましたが、この半年間でいくつかの業務改善を行ってきました。その一つが「訪問看護継続の検討会」です。月に1回(毎月第一月曜日)、外来担当医師、看護副部長、外来師長、訪問看護担当看護師、保健師、医療相談室精神保健福祉士、デイケアスタッフなど多職種が集まり、訪問看護を利用されている方々のカンファレンスを行っています。本人の近況、生活スタイル、利用されているサービスなどを確認し、訪問看護継続にあたって訪問回数・時間の見直し、今後の方向性について具体的に話し合っています。必要に応じてホームヘルパー事業所、地域活動支援センターなどとも連絡を取り合っており、今後は高齢者関係の機関との連携も深めながら協力し合って患者様の生活を支援していきたいと思っています。

当院の長期目標の一つに「2010年度末で訪問看護件数月200件」とあります。現在月100件ですから、今の2倍になる予定です。それに向け訪問看護についてもっと勉強し、自分自身の人間をもっと磨き、訪問看護を利用されている皆様の社会復帰の援助が今以上にできるように努力していきたいと思っています。



訪問看護検討会の様子

外来作業療法について

作業療法課課長 香川 卓也

当院に入院されている方や病院職員であれば、一度は作業療法(以下OT)という言葉が聞かれたことがあると思います。精神科OTの対象となるのは主として入院されている方ですが、作業療法課では自宅や地域社会で生活されている患者様に対しても、平成13年度から外来OTを実施しています。開始当初はまだまだ入院されている方や入院治療プログラムの数も多く、それに対応する作業療法士(以下OTR)の数も不足していました。そのため積極的・計画的な展開ができず、外来OT開始当初の利用状況としてはデイケアにどうしても通えないなどの特別な事情を持つごく一部の方が、月に何度か利用するといった程度のものでした。平成16年に院内で地域生活支援委員会が発足した頃から、私自身をはじめ一人一人のOTRの外来OTに対する位置づけが大きく変わってきているように思います。その理由の一つに、ここ数年間で病院一丸となって取り組んできた退院支援活動の成果もあって、長期入院されている方が急速に減少してきた事実があります。また新たに入院される方の入院治療期間も短縮傾向にあります。

そのような現状を踏まえ、今後も従来の長期入院患者様に対するOTは継続しながら、それに外来OTをうまく

組み合わせ、一人の患者様の入院から地域生活までの連続した全過程に関わるということが重要になってくると考えます。地域での生活において外来OTを利用することにより、実際に再発や再入院を防止できたり、最小限の入院で元の生活に戻れたと思われる例も増えてきています。昨年度(平成18年度)は、年間延べ887人が外来OTを利用しました。これは一昨年度(平成17年度)の1.7倍、平成16年度の12倍という数になります。このように外来OTの利用者数が増えた要因は、部署として目標を掲げて取り組んだこともあると思いますが、OTRらが当初予測していた以上に希望される方が多かったように思います。

平成19年11月現在、一日平均4~5名の外来患者様がOTセンターを訪れています。グループ活動、室内作業、陶芸クラブ、畑での野菜や花づくり、卓上ゲームクラブなど参加された方々の活動内容は多岐にわたっています。また、今年度中に外来OTのパンフレットも作成予定です。興味のある方は主治医にご相談いただくか、直接OTセンターをお尋ねください。



三船病院医師からのメッセージ・・・

「脳を鍛える!？」

医師 梅田 理可

最近朝の冷え込みも厳しくなり、秋もいよいよ深まってきましたね。秋と言えば、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋など実りの多い季節、みなさまどのようにお過ごしですか？

近頃は脳を鍛えるブームで書店などでも大人のための計算ドリルや塗り絵、インド式計算ドリル、各種パズルゲームなど、脳の老化防止のための商品が多く見られます。その中でも、私は『数独(すうどく)』という数字を使ったパズルゲームにはまって時間があればやっています。このゲームは日本発祥のゲームで、世界的に広まっている有名なパズルゲームです。ルールは1~9までの数字を空いたマスに入れていく単純作業です。気のせいかもしれませんが、この数独パズルを解くと頭がスッキリして回転が良くなるような気がします。

ルール ①空いているマスに1~9のいずれかの数字を入れる。

②縦、横の各列および太線で囲まれた3×3のブロックに同じ数字が重複して入ってはいけません。

5	3		7		
6			1	9	5
	9	8			6
8			6		3
4			8	3	1
7			2		6
	6			2	8
			4	1	9
			8		7
					9

三愛会 トピックス



★第18回相談室セミナー

9月27日(木)14:00～第18回相談室セミナーを開催しました。今回は『バランスのとれた食生活について～食事について考えよう～』と題し、日本イーライリリー株式会社の協力も得て当院の管理栄養士より食事バランスガイドやメタリックシンドロームについての講話がありました。また当院の売店内で売れ筋の清涼飲料水を用意し、その中に含まれる砂糖量を分かりやすく実際のスティックシュガーで示したり、カップ麺をカロリーの高い順番に並び替えたりして日頃の食生活を見直すいい機会となりました。入院中の方、外来通院中の方合わせて25名の参加があり、質疑応答の時間にはたくさんの質問があがりました。



三船病院 委員会活動紹介

「診療録管理委員会」

委員長 三船病院医師 三谷 理恵

「診療録(カルテ)管理委員会」は、「診療録等の記録管理に関する事項」を審議するため、平成18年4月に委員会規定が作られ活動を開始しました。主な活動は①診療録の管理に関すること(例えば診療録の所在管理や閲覧規定、保管方法)、②診療情報の活用に関すること(疾患別患者数の統計資料の作成)、③診療録記載マニュアルの検討(医療従事者間で正確に情報を共有するために見やすい診療録を作ること)などです。また月に1回、医師、看護師、薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士などで構成された「診療録パトロール隊」(パトロールといってもパトカーには乗っていません。パトランプも回っていません)のメンバーが静かに病棟や

外来を巡回します。パトロール隊は診療録がマニュアルに沿って記載されているかどうか一冊一冊チェックをします。そしてそのチェック結果をもとに、月に1度の診療録管理委員会で改善点などの検討をしています。

実際、検討と改善を重ねていくことで私の個人的な感想としても、随分見やすく、また情報が有効に活用されやすい診療録になってきたと感じています。同時に記録用紙一枚一枚の重みを改めて感じています。今後も患者様の個人の情報をしっかりと守り、その患者様に関する情報をできるだけ有効に役立て、きめ細やかな対応が出来るよう検討、改善を重ねて参ります。ご拝読ありがとうございました。

《委員会》

- | | | |
|--------------------|---------------------|-------------------|
| ・教育委員会(第1水曜日) | ・衛生委員会(第2水曜日) | ・病院機能評価委員会(水曜日) |
| ・個人情報保護委員会(第1水曜日) | ・業務改善委員会(第2水曜日) | ・倫理委員会(年1回) |
| ・情報システム委員会(第1水曜日) | ・診療録管理委員会(第2金曜日) | ・医療ガス安全管理委員会(年1回) |
| ・クリニカルパス委員会(第1水曜日) | ・薬事審議委員会(第3水曜日) | ・予算管理委員会(年1回) |
| ・地域生活支援委員会(第1水曜日) | ・院内感染対策委員会(第3金曜日) | ・接遇管理委員会(年2回) |
| ・行動制限最小化委員会(第1金曜日) | ・栄養管理委員会(第4水曜日) | ・診療情報提供委員会(随時) |
| ・人権委員会(第1金曜日) | ・褥瘡予防対策委員会(第4水曜日) | |
| ・医療安全管理委員会(第2水曜日) | ・患者サービス向上委員会(第4水曜日) | |

* 12月以降一部変更予定



【介護老人保健施設 福寿荘】

管理栄養士 志村 優子

介護老人保健施設福寿荘では、介護保険法等の一部改正に伴い平成17年10月より「栄養ケア・マネジメント」を実施しております。「栄養ケア・マネジメント」とは、利用者様の低栄養状態などの予防・改善のために、個々人の栄養状態、健康状態及び嗜好、食習慣を把握し、それに基づいて必要な栄養ケア計画を作成し多職種が協働で支援する体制のことをいいます。低栄養状態とは(1)BMI18.5未満 (2)顕著な体重減少がある (3)血清アルブミン値3.5g/dl以下 (4)食事摂取量不足(75%以下) (5)褥瘡がある などから総合的に判定します。低栄養状態がさまざまな臨床的問題、生活機能や全身状態の低下を引き起こすため、それらの誘因となっている、摂食・嚥下障害、口腔内の問題など各種専門的なサービスにより解決しなければなりません。基本的な日常生活行為であり、生きる意欲や楽しみに繋がる「食べること」を優先的な課題とし、生涯にわたり尊厳のある自己実現を目指すという観点に立ち、適正な「栄養ケア」を提供できるよう取り組んでいます。

【三愛会コミュニティケアセンター】

生活訓練施設花園荘 施設長 松原 美和

花園荘は精神保健福祉法内に規定された精神障害者社会復帰施設の一つとして平成9年4月に開設、はや11年目を迎えました。当施設の目的は精神科病院において長期に入院し、単身又は家庭で生活することが困難な方に対して、最長3年間、生活の場を提供し、日常生活の支援や社会復帰の促進を図ることです。定員は20名で平成19年10月1日現在の利用者は17名です。障害者自立支援法の短期入所事業所(定員1名)が併設されており、在宅支援の一部も担っています。

現在の活動は個別支援(日常生活における相談援助・買い物・各種制度の手続き・家族連絡調整・退所支援・退所後の支援など)、グループ活動として各種事業、余暇活動、毎週1回ミーティング、講習会の開催などを行っています。今年度からボランティア活動として丸亀市内のクリーン清掃を始めました。利用者の日中活動としては地域活動支援センターの利用、内職活動への参加、デイケア利用、外来OT利用、就労している方と多様です。利用者が共通して抱えているニーズは退所後の住居確保、地域生活の継続、家族との関係であり、利用者間において話題にのぼる機会が多いと思われます。

平成19年10月1日現在で53名が当施設を利用し、退所に至っています。これまでに利用中の再入院者(退所に至ったケース)は10名、退所後の再入院者(住居を退去したケース)は2名と大半の利用者は地域での生活を継続できています。10年前と比較すると地域生活を送るうえでのサービスは管轄も保健所から市町レベルへ移管され、ホームヘルプサービス、ショートステイ、訪問看護、在宅訪問、ボランティアなどといったものが登場しました。サービス数はまだ十分とはいえませんが当施設利用中に社会生活上、必要な生活技術を身につけていただき、前述した福祉サービスなどをうまく活用することで生活の基盤を安定させ、孤独感を和らげるのにも有効なものとなってきています。スタッフとしても早急な危機的状況への介入を図り、安定した地域生活の継続をサポートできればと思います。

平成18年10月に障害者自立支援法が施行され、これまで精神保健福祉法内の制度であった生活訓練施設も平成23年度中までに同法への事業移行をしなければならなくなっています。これまでの実績と経験を生かし、より良いサービスのあり方について検討していきたいと考えています。

《三船病院からのお知らせ》

【行事予定】

○三船病院クリスマス会

日時:12月22日(土) 13:00~

場所:三船会館

今年はギター演奏、合唱、ハンドベル演奏など予定しております。皆さまのお越しをお待ちしております。



《編集後記》

秋も深まり冬の足音が聞こえる季節となりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。敷地内の木々は少しずつ色づき始め、そろそろ紅葉が楽しめる雰囲気を感じられます。

さて、今回は訪問看護や外来作業療法など、外来通院されている方が利用できるサービスについて特集させていただきました。今後もより多くの社会資源情報をお伝えすることで、みなさまの生活がよりよくなるよう支援させていただきたいと思っております。
(三船病院相談室PSW)